

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(5)	身体拘束廃止委員会を整備されることを期待する。	身体拘束廃止委員会を整備し、入居者の身体拘束を予防する。(現在身体拘束なし)	船本ケアマネを委員長として、身体拘束防止に向けた体制を強化していく。 船本には外部研修にも参加させる。	1ヶ月
2	(9)	利用者の「思い(○○したい、○○が好き等)」が込められた言葉を積極的に拾い上げて日々の記録に残し、介護計画に繋げる仕組みが期待される。	利用者の思いを吸い上げられるような接遇に配慮し、それを具体的な言葉として記録に反映できるよう、また、それを介護計画に結び付けられる努める。	日々の介護記録に利用者が具体的に何々したいなどの具体的なことを記録に残し、それを介護計画に反映していく。	3ヶ月
3	(16) (17)	ホームの立地条件等を考慮し、年1回は消防立ち会いの下での訓練(夜間帯の火災想定・避難誘導等)が期待される。	防災訓練の内容の充実を図る。	年間の防災訓練の中に消防署立ち合いの避難訓練等を計画実施する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。